

一般社団法人 日本アルミニウム合金協会の活動状況

令和5年8月

一般社団法人 日本アルミニウム合金協会

目次

1. 技術術的課題に取り組んでいます
2. 溶解技能者検定事業を実施しています
3. 環境に関する課題に取り組んでいます
4. 事故などの情報共有に力を入れています
5. 中小企業対策に取り組んでいます
6. 関係機関との連携に力を入れています
7. 政府に対して政策提言をしています
8. 各種統計調査に力を入れています
9. 会員交流の場を提供しています

1. 技術的課題に取り組んでいます

- **技術委員会**を定期的に開催し、その時々**の技術的な課題**について意見交換や検討を行っています。
- 日本ダイカスト協会と共同で、**新合金の開発と用途の拡大**に取り組んでいます。
- **鋳物・ダイカスト用アルミニウム合金地金などのJIS規格**の策定のほか、他団体の策定する規格の制定・改正に協力しています。
- **SDS(安全データシート)参考書式**の策定に取り組んでいます。
- 分析用の**標準試料**を作製し、頒布しています。

(最近の取り組み事例)

- ◇ H22年度にJIS H 2211:2010 鋳物用アルミニウム合金地金の規格改定の原案を作成。
- ◇ R4年3月に標準資料AD12-D、Eを作成。
- ◇ R5年3月に地金用SDSを改訂。
- ◇ R5年3月に溶湯用SDSを改訂。
- ◇ R5年3月に日本ダイカスト協会との共同研究の成果報告書を取りまとめ。

2. 溶解技能者検定事業を実施しています

- アルミ二次合金業界における我が国唯一の**資格認定制度**となっている**三級溶解技能者検定事業**を実施しています。〔隔年事業〕
- 受験者の便宜を図るため、各地で**講習会**を開催しています。
- 受講者向けに**テキスト**を作成しており、技術の進歩に応じて内容も改訂を重ねています。

(最近の取り組み事例)

- ◇ 延期していた令和3年度三級溶解技能者検定事業を実施
 - : 講習会を東京、名古屋、大阪、福岡で開催
 - : 令和3年度の参加者は153名
- ◇ これまでに、延べ 2,100名の三級溶解技能者を認定

3. 環境に関する課題に取り組んでいます

- アルミリサイクルの一翼を担う当業界にとって、環境への配慮は会員共通の永遠の課題です。
- このため、環境対策を検討する常設委員会として**リサイクル部会**を設置して、各種課題の解決に向けた取り組みを強化しています。
- 近年ではダイオキシン類に続く**POPs排出抑制への対応**が重要課題となっており、環境省が行っている**POPs排出実態調査**に協力するなど、環境省の排出抑制に向けた検討に協力しています。
- また、毎年環境省が取りまとめているダイオキシン類の排出量調査に協力しています。

(最近の取り組み事例)

- ◇ 平成12年第一次ダイオキシン類削減計画策定に協力
- ◇ 平成17年6月第二次ダイオキシン類削減計画策定に協力
- ◇ 平成18年10月 欧州DXNs調査団派遣
- ◇ 平成24年8月第三次ダイオキシン類削減計画策定に協力
- ◇ 平成29年より環境省のPOPs排出実態調査に協力

4. 事故などの情報共有に力を入れています

- 安心・安全対策は企業活動の要です。
- 事故トラブル発生に際しては、会員相互の情報共有に力を入れており、業界の総力を挙げての原因究明と再発防止に取り組んでいます。

(最近の取り組み事例)

- ◇ 毎年、当業界における労働災害事例集を作成
- ◇ H23年5月「放射性物質により汚染された恐れのあるスクラップ材等の取り扱いについて」を取りまとめ
- ◇ H24年10月～25年3月「マグネシウムスクラップ混入」及び「マグネシウム・リチウム合金スクラップ」に関するトラブルについて注意喚起文書を取りまとめ
- ◇ H25年6月環境省による放射線汚染に関する調査結果を踏まえ、会員企業に注意喚起文書を発出、会員企業の取り組み実態を調査
- ◇ H26年10～11月 東京、名古屋で、第2回労働安全に関する研修会を開催

5. 中小企業対策に取り組んでいます

- 中小企業庁と連携して、中小企業向け各種制度の普及・啓蒙活動を行っています。
- セーフティーネット(緊急報奨制度、雇用調整助成金等)の発動時において、当業界が特定業種に指定されるため、当業界関連データの取りまとめ、報告するなど、役所に対する窓口機関としての任務を担っております。

(最近の取り組み事例)

- ◇ リーマンショック後、セーフティーネット制度が当業界に適用されるため、政府への働きかけを実施
- ◇ 新型コロナ対応等、状況に応じて特定業種の指定申請手続きを実施

6. 関係機関との連携に力を入れています

- 原料問屋団体、ユーザー業界、ドロス業界など関連業界とのコミュニケーションの維持・強化に力を入れています。
- このため関連協会と定期的に懇談会を開催しております。

(最近の取り組み事例)

- ◇ H29年10月(一社)日本自動車工業会材料部会との懇談会を開催
- ◇ R2年2月日本アルミドロス協議会と懇談会を開催
- ◇ R4年10月軽金属同友会と懇談会を開催

7. 政府に対して政策提言をしています

- 当業界を所管している経済産業省金属課とのコミュニケーションを重視しています。
- このため、金属課長と定期的に懇談会を開催しています。
- 必要に応じて金属課を通じて、国に政策提言しています。
- また、国が主催する各種会合に業界を代表して出席し、その場で得られた情報を会員向けに提供しています。

(最近の取り組み事例)

- ◇ H22年1月競争法コンプライアンス体制に関する説明会に参加
- ◇ H23年4月原発事故に伴う夏の節電対策説明会に参加
- ◇ 平成25年度の税制改正に際し、
「グリーン投資減税の延長等に関する要望書」を提出
- ◇ H26年7月軽金属4団体と共同で、
「エネルギー価格高騰対策に関する要望書」を提出
- ◇ R4年11月金属課長との懇談会を開催

8. 各種統計調査に力を入れています

- 企業経営にとって、信頼のおける情報に裏打ちされたホットな産業動向を把握することは極めて重要です。
- このため当協会では、会員会社、関係機関等の協力を得て、各種調査を行い、原則として月毎に統計資料としてとりまとめています。
- また毎年、アルミニウム二次合金地金・同二次地金及び鋳物・ダイカスト用アルミニウム合金地金（一次合金）に関する需要見通しを策定しています。
- これら情報は、当協会ホームページ上で発表するとともに、会員会社、プレス、関係機関に情報提供を行っています。

（最近の取り組み事例）

◇ 統計調査

- * アルミニウム二次合金地金・同二次地金の生産、出荷及び原料消費等
- * アルミニウム地金、アルミニウム合金地金、アルミニウムくず及び金属珪素
輸入通関実績
- * 国内アルミニウム二次合金地金・同二次地金及び鋳物・ダイカスト用アルミニウム合金地金（一次合金）需要

◇ その他当業界に関連のある統計資料を調査

9. 会員交流の場を提供しています

- 会員どうしの相互理解と、親睦のため、交流の機会を数多く用意しています。
- 優良技能者表彰、労働安全優良事業所表彰などの顕彰事業を行っています。

(最近の取り組み事例)

- ◇ 総会会場で 優良技能者表彰、労働安全優良事業所表彰を実施
- ◇ 総会後に会員懇親パーティーを開催
- ◇ R5年5月、協会創立50周年記念行事を実施
 - ： 感謝状贈呈式
 - ： 記念講演会
 - ： 記念祝賀会
- ◇ 新年賀詞交換会を開催（東京、大阪）
- ◇ 会員懇親ゴルフ会を開催（年2回：春(関西)、秋(関東)）
- ◇ 非鉄金属7団体で作る「非鉄金属ネットワーク協議会(ネット7)」の活動に参加